

また行きたいな

屋久島町立宮浦小学校六年

永田 千洋

ぼくは八月十四日、宮の浦の白谷雲水峡に行きました。なぜ行、たかという、お兄ちゃんか白谷雲水峡に登、てみたいと言、たからです。そこでぼくはお兄ちゃんに屋久杉を見せたいと思、い、あくあくしました。白谷雲水峡の入り口に行くまでの道はぐにぐに、で先が見えなく、車によ、てしまいました。

ぼくは白谷雲水峡で感じたことが二つあります。

まず一つ目は自然、てすごいなと思、たところ、です。例えば、道の中で杉をくぐるところがあります。その杉は少しづつ、して、いと、匂いはありません。そこは木がたおえていて、そこから芽が生えたところで、すが、ぼくは「本当は人がくり抜いて作、たのではないか？」と思、いました。

他にも、一番最初に、ある大岩は、大人が五十

人以上乗れそうぞ、「こんな大きな大きい岩と  
ここから持ってきてたんじゃないか？」と思っ  
ました。

次に道を歩いていると、ほかの人と出会  
い、「お母さんがよけようとして、バランスを  
くずして、足をくじいて痛めてしまいました。  
ぼくは

「大丈夫？」  
と言いました。お母さんはずとも痛そうぞ、  
心配していました。そこで「山って危険なところ

もあるから気をつけよう」という事が分かりま  
した。

このようにぼくは「自然にはきれいなところ  
も危険なところもあるんだな」と感じまし  
た。自然のきれいなところは、一つ目に紹介  
した他にも、川が勢いよく流れていたり、こ  
けがふ段見るよりこゆく生えているところか  
きれいだなと思いました。この自然にお兄を  
人は

「すごか、た。行ってよか、た。」

と言、ていまして。またお兄ちゃんやお母さんとお谷雲水峽に行きたいです。